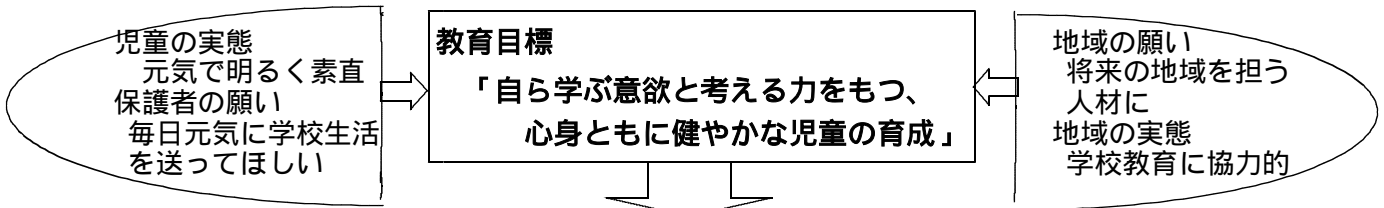


平成23年度 学校経営計画

かつらぎ町立三谷小学校



めざす姿		
学校像	児童像	教師像
1 確かな学力が身につく学校	1 自ら考え、自ら学ぶ意欲的な子	1 教師としての使命を自覚した人間性豊かな教師
2 明るく元気な声が響く学校	2 助け合い、励まし合う心豊かな子	2 研修と実践に努め、力量を磨きあう教師
3 地域社会に開かれた学校	3 健康で明るく、元気な子	3 地域・保護者との連携と信頼を大切にする教師

目標と方策			
項	中期目標	重点目標	具体的方策
確かな学力	基礎基本の習得と学力の定着に努める 一人ひとりを活かし、自ら学ぶ意欲を育てる	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な学習習慣の育成。 基礎基本の習得と定着を目指す授業の工夫と改善。 先を見通したつながりのある授業研究の推進。 一人ひとりの課題に応じた支援指導の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> 複式指導の研究をふまえ、主体的な学び合いができる学習基盤作りに取り組む。 学力状況調査の結果分析をもとに、平常の授業において、児童の表現力を高める場の設定や指導の工夫など授業改善に努める。 児童個々の課題を把握し、課題に応じた対応を研究するとともに、個別の支援計画のもと全校態勢で支援指導に努める。 授業研究を通して、お互いの指導技術の向上に努める。
豊かな人間性	規範意識と市民性を育てる 人権・生命を大切にする心情の育成をめざす	<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育の充実。 体験的活動を通じた規範意識の高揚と実践力の育成。 身の回りの不合理に気づき、それらを解決しようとする実践力の育成。 自分の良さや友達の良さを認め、自他の生命を大切にしている児童の育成。 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳的心情の育成を目指し、生活実態に即した教材と授業展開の工夫をする。 「あいさつ」と「そうじ」の励行をとおして、社会的なコミュニケーション能力の育成を図る。 自然体験、福祉体験、勤労体験等の活動においては道徳的心情・実践力を養うとともに市民性の育成を意識した指導に努める。 自己の判断に自信を持たせる指導や声かけにより、児童の自己肯定感を育てる。 学校生活を通して認め支え合う共感的な人間関係作りを努めるとともに、子どもの心に寄り添う実践を深める(縦割り班活動の充実)
健康と体力	健康でたくましくいきる心と体を育てる	<ul style="list-style-type: none"> 体力、運動能力の向上を図る。 健康や安全への意識高揚。 	<ul style="list-style-type: none"> 三谷タムを活用し全校的な体力作りに努める。 合同体育など授業形態を工夫し充実を図る。 挑戦する意欲を持たせる指導を推進する。 歯の健康指導への取組み(フッ化物洗剤)の継続 家庭との連携を密にした健康指導に努める。 地域の見守り隊等と連携し、校内外での安全指導を推進する。 交通指導、防犯・避難訓練の実施。
地域との連携	地域ぐるみの子育てを推進する 地域に開かれ、信頼される学校作り	<ul style="list-style-type: none"> 家庭や地域との連携のもと、地域ぐるみの子育てに努める。 学校便り等の地域回覧など積極的な情報発信活動を通して、学校教育への関心と理解の深化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域各機関との連携・交流を積極的に行い、地域ぐるみの子育てを推進する。 学校便りの地域回覧や学校開放、地域ボランティア等との交流等により開かれた学校作りに努める。 学校評価(児童、保護者、学校関係者)を生かし、教職員の意欲向上と意識改革を図る。

